

# 消防広域化でさらなる安全・安心 資機材を整備し、効率的で強固な組織へ



2市1町で準備を進める「富士山南東消防組合」は、平成28年4月1日(金)から消防業務を開始します。消防広域化は、消防体制の整備や充実を図り、消防力を強化するために行うものです。

消防総務課  
☎995-1190

## 火災などの災害や救急時の体制強化

消防救急活動では、初期対応が大切です。被害を最小限に抑えるために、消火や救助の初期段階で、より多くの人員や適切な資機材を投入し、迅速に対応する必要があります。消防の広域化によって組織が拡大するため、運用できる消防車や救急車の台数が増加します。その結果、火災や救急時の初動対応が厚みを増し、応援体制が強化されることになります。

また、下図のように市境がなくなるため、近くにある消防署や分遣所から出動できないという「管轄区域」の矛盾が解消されます。特に市町の境界付近では、最も近い消防署や分遣所から出動できるようになります。現場までの到着時間が短縮されるため、延焼拡大の防止や救命率の向上などが期待されています。

## 消防団との密接な連携

皆さんの身近な存在である消防団は、地域に密着した多様な活動を行うため、広域化の対象外となっています。これまでどおり、各市消防団として地域で活動することになります。また、富士山南東消防本部と2市1町の消防団は、引き続き密接に連携を図っていきます。

## 資機材の導入・更新の円滑化

現在、各市町で特殊車両などを設置・保有していますが、広域化をすれば重複投資を回避できます。また、新たに整備する必要がある施設や資機材などの投資負担額を縮減できるため、より高度な資機材などを整備・配備することが可能になります。

